

メンテナンスコストも抑えられる

# かしこい選択。20年保証される家。

20年という防蟻、防腐の長期保証が可能になったのは、

加圧注入処理を基本とするハウスガードシステムだから。

これまでのものとは比較にならない安心・安全をお約束します。\*

もしもの場合に備えて、保険による保証も万全です。

万が一、保証期間中に腐れやシロアリ被害が発生した場合は、

最高300万円までの損害賠償保証がついています。

後々のことを考えれば、メンテナンスフリーのハウスガードシステムを採用した住宅の方が、

大きなメリットが出るといえるでしょう。

高い防腐・防蟻効果と寸法安定性を備えた「緑の柱」は、数々の公共施設に採用されています。

使用薬剤のマイトレック ACQ は木材に強く吸着し、容易に水に流れ出ません。

その効果が評価され、公園・河川・治山工事などにも幅広く採用されています。

※ 20年保証には10年目の再施工(有償)が必要です

## 使用事例



## 公的試験で実証された確かなデータ

加圧注入処理と塗布処理で、耐久性を比較したデータがあります。塗布処理を代表とする表面処理の耐久性が約5年程度(「日本しろあり対策協会」公式コメントより)であるのに対し、加圧注入処理(「マイトレック ACQ」使用)では約100年以上という試算が出ています。100年にわたって効果が持続するという表現は、決してオーバーなものではありません。加圧注入処理を施した木材を使用し、(独)森林総合研究所にて屋外試験を行ったところ、29年経った2017年時点でも良好な状態を維持しています。なお、この試験はその後も継続中です。(独)森林総合研究所の試験結果に加え、米国農商務省とおよび各地の公的試験場における野外試験の結果より推測された数字が「100年」なのです。確かなデータに裏打ちされた100年という数字こそ、加圧注入処理の実力と信頼性を裏付けるものです。

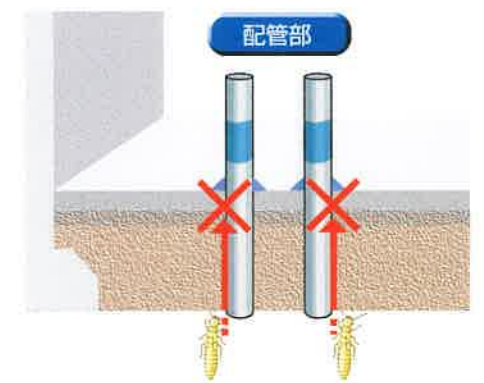


加圧注入処理を施した「緑の柱」を地面に刺した状態で29年経過したものの腐れなどの損傷はみられない。



## 床下配管部分への防蟻処理

ハウスガードシステムは、基礎の配管部分にも防蟻処理を施しますので、基礎からシロアリの侵入を未然に防ぎます。基礎形状に合わせた隙間のコーキングや防蟻剤塗布を行い、シロアリの侵入を防ぎます(この配管防蟻処理は、10年に一度のメンテナンスが必要です)。ベタ基礎、基礎パッキン工法を施したものは、防蟻はいらないといわれていますが、実際には被害事例も見られます。ハウスガードシステムはそういった万が一の対策においても万全です。



## 20年保証を実現

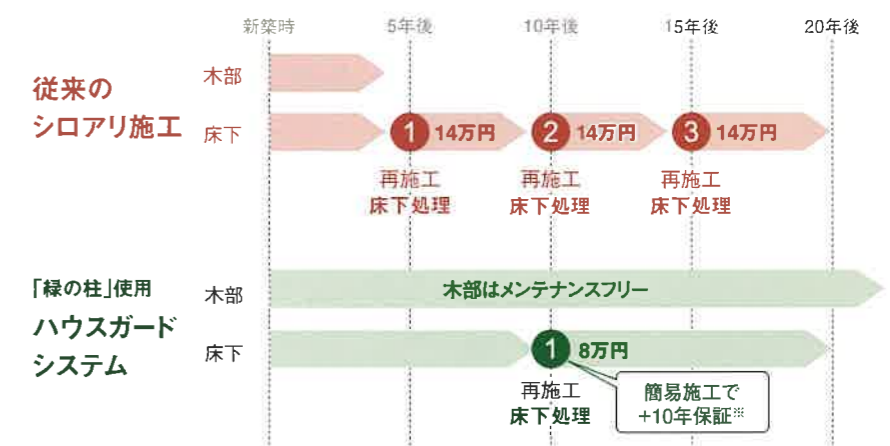
薬剤は木材内部まで浸透し、長期間効力を発揮します。20年という防蟻、防腐の長期保証を可能にする理想的な木材保存技術です。万が一、保証期間中に腐れやシロアリ被害が発生した場合は最高300万円までの損害賠償保証がついています。

※ 20年保証には10年目の再施工(有償)が必要です



## メンテナンスフリーで経済的

5年ごとに散布が必要なシロアリ駆除剤と違い、20年間のメンテナンスフリーを実現。壁の内部にある柱や土台を、雨漏り・水漏れといった目に見えない腐れや、シロアリ被害から長期にわたり守ることができます。従来のシロアリ施工と再施工にかかるコストを比較しても、20年間で約34万円もの削減になり、長い目で見てとても経済的な防腐防蟻技術といえます。



※20年保証には10年目の再施工(有償)が必要です  
※価格は市場によって変動します